

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (甲信越)	◎	高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が解除され、新型コロナウイルスの新規感染者数は減らないものの、年度末とも重なり、家族単位や送別会等の会食の機会も増えてきたようで、順調に回復している。
	◎	その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	お客様の様子	・今月は永代供養墓の依頼がとても多く、墓じまいも同様である。また、自分の家の墓に入れようとしても、お骨がいっぱいでどうしようもないという場合も多く、粉骨はどうかと勧めている。粉骨の依頼も随分あり、これから増えてくるとみている。
	○	商店街（代表者）	販売量の動き	・高校入試が始まり、今は学校指定の体育衣料等の注文を受けている。思った以上に多くの枚数を注文する客が多くいて、驚いている。
	○	一般小売店〔家電〕（経営者）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が一応終了し、また季節も良くなり、合わせて年度末に向かうためか、客の動きが大分良くなってきている。
	○	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・やや暖かくなり、移動客数も増えてきている。今までは寒かったので夜は客が来なかったが、出てくる人が増えて、若干上向いている。
	○	コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・やや良くなっているものの、来客数の減少が激しい。
	○	家電量販店（店長）	来客数の動き	・当市でプレミアム付商品券発行の施策が始まったため、若干持ち直している。
	○	一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染拡大の第6波も下降気味になってきており、また良い意味で、感染予防慣れしてきたため、動きが出てきているようである。多少、春の天候の影響もある。
	○	スナック（経営者）	来客数の動き	・良いも悪いも、2月は1日も営業できなかったのので、店が開けられた時点で良くなっているのだが、例年と比べれば、ひどい状況である。世の中がどこまで元に戻っていくのかを見極めて、駄目そうなら早めに撤退を考える必要がある。
	○	観光名所（職員）	お客様の様子	・ツアー団体の予約は期待できないものの、一般個人からのWeb予約が順調に入ってきている。
	□	商店街（代表者）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が解除になり、週末の人出が良くなってきたものの、新型コロナウイルス禍前の50%でしかない。
	□	一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・相変わらず、必需品の購入は必要に応じてしているようであるが、売出やイベント等もなかなか仕掛けにくい状況なため、購買意欲を促すことが難しく、売上の伸びはない。
	□	スーパー（経営者）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置解除後も新型コロナウイルス新規感染者は高止まりしている。生活は急には戻らず、依然として来客数は減少し、買上点数の増加が続いている。
	□	スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数、買上点数、1品単価いずれも前年並みである。
	□	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置は解除されたが、来客数に大きな変化はない。
	□	コンビニ（店長）	販売量の動き	・売上自体は大分悪いが、3か月前と比べても傾向は余り変わっていない。来客数は少なく、買上点数は増えており、客単価は若干上がっているという状況がずっと続いている。
	□	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・春夏物のスーツの需要がない。
	□	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新車の供給不足で納期が遅延していることから、新車受注が伸びない。
	□	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・車検、一般整備は、若干ではあるが目標を上回っている。新車納期の遅れから、中古車への問合せが多いものの、以前の相場より中古車価格が上昇しているため、なかなか契約に結び付かない。

□	その他専門店 〔酒〕（店長）	販売量の動き	・3月後半の3連休を皮切りに、土日の動きが良くなってきている。春休みや花が咲いたり、暖かくなったりしていることもある。1番大きいのは東京のまん延防止等重点措置が解除されたことである。今月後半は良いが、今後はなかなか難しいのではないかと。
□	一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数は一向に減らないが、イベント等には反応がみられるようになってきている。
□	スナック（経営者）	お客様の様子	・変わらないとしたが、上昇していけないまま、本当に変わらないという意味である。客は新型コロナウイルス、世界的な戦争にも本当に困っている。どうしたらよいか路頭に迷っている。
□	都市型ホテル （スタッフ）	来客数の動き	・3か月前は非常に動きがあり、伸長していた時期であるので、売上は同程度まではいかないが、客の動きの勢いは同じくらいである。まん延防止等重点措置の解除後は、先の予約、利用共に活発になってきている。
□	都市型ホテル （スタッフ）	お客様の様子	・3か月前の12月は、まん延防止等重点措置適用前だったので、今はその状態にやや戻っており、前月に比べても客の動きがかなり良くなっている。特に、3月は歓送迎会シーズンであるが、前年は全く歓送迎会を行わなかった企業でも、今年は徐々に行うところが出ており、企業マインドが上がっている気がする。
□	旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染拡大第6波によるまん延防止等重点措置が解除されたが、旅行については、いまだ自粛の影響が強く、消費につながってこない。また、燃料や原材料の値上げにより、多品目で値上げがあり、先行き不安から客の財布のひもは固い。
□	通信会社（経営者）	お客様の様子	・年度末は異動や就職等の時期だが、新規加入は低調である。
□	通信会社（社員）	販売量の動き	・新入居の時期で、本来ならば問合せも比例して増えてくるが、例年に比べて比較的静かである。
□	遊園地（職員）	来客数の動き	・首都圏にまん延防止等重点措置が適用され、団体予約のキャンセルや一般客の大幅減少につながっていたが、3月22日に解除されてからは、春休みということもあり、にぎわっている。
□	ゴルフ場（経営者）	それ以外	・原材料価格や燃料費高騰による原価率の上昇が価格に転嫁できない。新型コロナウイルス禍ではあるが、暖かい日も多く、プレーヤーものびのびとプレーをしている。売店も春の商材が多く売上は順調で、パーティー減少分をカバーしている。
□	その他サービス 〔貸切バス〕 （経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大がなかなか収まらない。
▲	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大で来客数も減っており、物価も上がっているため、客の買い方も慎重になっているようである。
▲	スーパー（経営者）	来客数の動き	・前年並みだが、来客数は14%減となっている。新型コロナウイルスに続き、戦争もある。春になり、人の移動が活発になるとうれしい。イベントもかなり再開し、前週～今週と忙しく外販で稼いでいるが、店に来店する客がめっきり減った感じがする。
▲	自動車備品販売店（従業員）	来客数の動き	・半導体不足の影響や自動車製造の遅れもあり、来客数は前年割れが続いている。
▲	観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスが発生してから3年目に突入したが、いまだにアップダウンが激しい。3か月前の12月と比べて、1月に発生した感染拡大第6波の影響で、悪い状況である。
▲	タクシー運転手	販売量の動き	・11～1月と徐々に良くなってきたと思っていたが、2月は最悪で前年比91%、今月も多分95%で終わりそうである。夜の動きは良くなってきたようだが、全体的に良くない。
×	商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの悪影響はもちろんあるだろうが、それにしても、人出の少なさは何とも表現できない。天候はまずまずなのに、人影の見えない通りを目の当たりにすると、何ともいえない。

	×	その他レジヤ施設 [ボウリング場] (経営者)	来客数の動き	・まん延防止等重点措置の影響で、思ったように売上が伸びない。月後半に解除されてからも、まだまだ厳しい状況が続いている。日々の新型コロナウイルス新規感染者数は高止まりの状態にあり、これが減少していかないと、客足も戻らない。
	×	その他サービス [クリーニング] (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルス、インフレ、原油高騰、更に戦争等もあって、本当に厳しい状況である。
企業 動向 関連	◎	*	*	*
(甲信越)	○	食料品製造業 (総務担当)	受注量や販売量の動き	・3月に入り、受注量がやや増加してきたので、今後に期待する。
	□	窯業・土石製品製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・特注品の受注が多少あるものの、依然として低迷している。
	▲	食料品製造業 (営業統括)	受注量や販売量の動き	・前年同期と比較して、来場者数はやや増加しているが、売上金額はほとんど変わらない。
	▲	電気機械器具製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・受注量が落ちている。見積案件はあるものの、受注につながらなかったり、形になるまでに今までよりも時間が掛かっている。
	▲	その他製造業 [宝石・貴金属] (経営者)	受注量や販売量の動き	・一部の小売店舗では、春の卒入学シーズン向けのパール製品の売上が好調で、前年並みの売上は確保できたようだが、多くの店舗や催事では、新型コロナウイルスオミクロン株の影響で、集客難が続く、売上は減少している。金やダイヤモンド価格の高騰で、収益は悪化している。
	▲	建設業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・資材や製品価格の高騰、納入の不安定化のため、成約が先に伸びている。
	▲	金融業 (調査担当)	取引先の様子	・物価上昇の影響が幅広い産業に影響し始めているが、販売価格への転嫁が進まない企業も多い。円安で海外からの所得移転の恩恵を受ける県内中小企業は少なく、景況感が悪化している。
	▲	金融業 (経営企画担当)	取引先の様子	・原油価格高騰や円安の影響によるコスト増加に加え、新型コロナウイルスの感染拡大による社会経済活動の停滞により、景気は低迷状況にある。
	▲	新聞販売店 [広告] (総務担当)	それ以外	・原油を始めとした燃料費の高騰が大きく、食料品の値上げにも影響を与えている。会社としては経費が増え、従業員の給料も思うように上げられない状況になっている。まん延防止等重点措置は解除されたが、新型コロナウイルスの感染収束には程遠いと感じられ、イベントや旅行等の需要が伸びてこない。
	×	食料品製造業 (製造担当)	受注量や販売量の動き	・商品の発注数が、前年の2割以上減っている。
雇用 関連	◎	—	—	—
(甲信越)	○	*	*	*
	□	人材派遣会社 (営業担当)	雇用形態の様子	・相変わらず、採用条件に変更はなく、合否判定にも時間が掛かり、採用するつもりがあるのか分からない企業が多過ぎる。行政の制度資金を利用したいための求人もあり、働く意欲をそぐ形となっている。
	□	職業安定所 (職員)	周辺企業の様子	・新型コロナウイルス新規感染者数の減少傾向は、プラス要因ではあるものの、ロシア、ウクライナ問題等のマイナス要因もあるため、変わらない。
	▲	職業安定所 (職員)	求人数の動き	・新型コロナウイルスの感染再拡大による影響も大きく、卸、小売業の求人減少、宿泊、飲食業では特に、飲食業が大きくダメージを受けているものの、宿泊業はそれほど数字が落ちていない。そうしたなかで、ロシアのウクライナ侵攻による世界経済の混乱で、原油高、原料高等の影響が製造業や各方面で出始めてきている。
	×	—	—	—